NIE実践報告

1．タイトル：☆自分の住む市をPRする新聞を作ろう

2．学校名

北海道深川市立一已小学校

3．実践者名（代表者名）

鈴木拓

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科　23人

6．単元（本時の学習課題）名

「わたしたちの市は、どんな所」

7．目標(狙い)

社会科の学習で、調べたことやわかったことや体験したことを文章に盛り込み、深川市のPRする新聞（パンフレット）を作成する。

8．評価の視点

自分が学習した内容がわかりやすく文章に表現され、絵や図を活用しながら見やすい新聞を作成できたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「わたしたちの市はどんな所」（教科書教材：学校図書）6時間
「おいでよ、わたしたちの市へ」4時間　　合計10時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①これまでの学習で学んだ深川市での名産や施設を振り返り、深川市の土地活用や公共施設について学習する。（6時間）
②学習した内容をまとめ、深川市をPRする新聞を作る。（4時間）

（留意点）
・記事、文章はわかりやすく、伝わりやすい表現を用い、自分の考えや感じたことを書かせる。
・題材は、社会科の授業で学習した内容を中心に、家族などからの情報も盛り込むようにする。
・購読新聞を参考に、題名や構成をグループで話し合いながら、決定させる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

ノートや資料を見直しながら、題材を選択することができ、学習の振り返りになった。自分たちの知っている知識や家族からの情報を取り入れ、深川に来てくださいという気持ちが表現された文章表現で書くことができた。

12．成果と課題

3年生ということで時の大きさなど統一することが困難で、考えた構成通りにならず時間を取ってしまうので、原稿用紙を使用し、変倍コピーして字の大きさを調整することを試み、時間短縮につながった。
新聞という形でパンフレットを作成したので、文章とそれに関する資料（図、絵）を上手く活用することができた。